

ほけんだより3月号



令和6年3月4日 鹿児島市立田上小学校

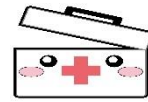
進級・卒業まで残りわずかとなりました。みなさんにとって、どんな1年でしたか。心も体もずい分と成長したと思います。6年生は、残り少ない小学校生活を悔いの残らないように楽しく過ごしてくださいね。春休みには、1年間の生活を振り返り、新しい学年の目標を立ててみましょう。

3月の保健目標

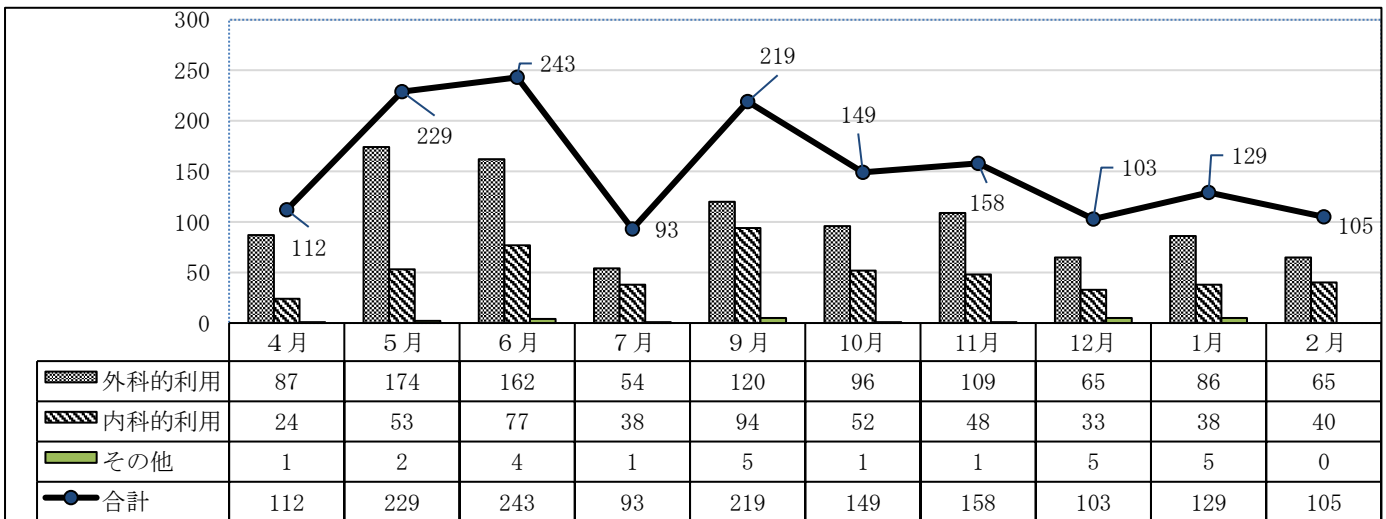
☆ 1年間の健康安全な生活を振り返ってみよう



1年間の保健室来室状況



今年度の保健室利用者数（2/20 現在）



けが… 1018人

病気… 497人

その他… 25人

合計… 1540人

けがや病気でたくさんの方が保健室を利用しました。救急処置だけでなく、「先生、あのね。」とちょっとした悩みや相談を受けることも多かったです。悩みはすぐに解決することは難しい場合もありますが、一人で悩まずに誰かに話を聞いてもらえるだけですっきりすることもあります。これからも、みなさんの心に寄り添いサポートできる保健室でありたいと思います。



今年度のむし歯治療率



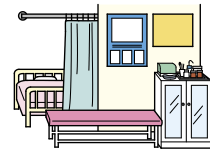
61人中35人済・・・57.4% (2/20 現在)

治療が終わった人は、新たなむし歯を作らないように1日3回、食べた
みがく習慣を身に付けましょう。

むし歯は放っておいても治りません。治療が終わっていない人は、春休み
等を利用して治療を済ませましょう。

～保護者の皆様へ～

第3回学校保健委員会報告



2月15日(木)に令和5年度第3回学校保健委員会がありました。各係からの実践及び反省、健康委員会児童の取組紹介等を行った後、テーマ「毎日の学校生活を健康かつ安全に過ごすことができる子供たちをめざして」に係る実践紹介や課題等について協議しました。また、タブレットを使用する際の家庭でのルールについて意見交換を行い、各家庭での約束事などについて発表し合いました。協議の中で課題となった内容については、次年度にしっかりと引き継ぐことになりました。来年度も学校、家庭、地域で連携を図り、子供たちが笑顔で楽しく安全に学校生活が過ごせるように取り組んでいきましょう。



<学校医 三島 研吾先生による指導助言>



タブレット等の端末利用については、子供を交えて家庭でのルールを決める必要がある。レストランでも注文した料理が出てくるまで、会話もなく、スマートフォンをそれぞれ見ている状態には、違和感を感じる。世の中が便利になった半面、自分で考えることをしない場面が増えすぎてきている。脳を活用しないと、自分で考える能力は低下していくことを重要視していかなければならない。

むし歯予防も非常に重要であり、むし歯や歯周病があると口腔内の粘膜免疫が弱まり、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザへの感染、アレルギーの増加、腸内細菌への悪影響などの健康を害するさまざまなリスクが解明されてきている。ぜひ、早めの治療を進めてほしい。

新型コロナウイルス感染症が2類から5類に変わったが、状況としては何も変わっていない。ウイルスの変異により、流行初期の頃は、肺で増殖して致死率も高かったが、今は、上気道で増殖するウイルスが主流となっており、喉の痛みを特徴とするものがほとんどである。新型コロナウイルス感染症に感染した人が増えてきたため、集団免疫を獲得しつつあるが、いつ新しい株が出るかはわからないため、油断は禁物である。インフルエンザもここ数年、流行しなかったため、抗体をもっている人が減り、流行しやすい状況にある。今は、インフルエンザB型が流行しており、頭痛や咽頭痛を訴える人が多い。また、異常気象の影響で、アデノウイルスや溶連菌感染症なども季節を問わず流行している。さらに、感染性胃腸炎の感染者も増えている状況である。感染症の予防として、これからもワクチン接種、手洗い・うがい、規則正しい生活習慣を心掛けて免疫力をアップし、過ごしてほしい。